

# 第 1 グループ【街づくり分野】

---



# みなとタウンフォーラム・第1グループ 街づくり分野

令和2(2020)年3月23日

## みなとタウンフォーラム第1グループ [メンバー]

秋元 宏	小澤 孝明	小野間 良
北澤 新樹	北野 健二	木村 美由紀
外川 昭宏	成田 祐一	藤本 佳子

※メンバーは五十音順



# 提言にあたって

## 第1グループ【街づくり分野】

私たち第1グループは、街づくり分野について、メンバーの興味・関心に基づき、「居住環境」、「魅力ある街並み景観の形成」、「公園・緑・水辺」の3つのテーマに分け、全8回にわたり、グループ会議で議論を重ねてきました。

港区は高輪ゲートウェイ駅や虎ノ門ヒルズ駅といった新駅をはじめとした多くの開発による街づくりが進んでおり、日本が誇る大都市となっています。この環境を活かしてグローバル社会への対応や、魅力ある都市の形成を図っていくことが必要です。一方で、私たちを取り巻く環境は温暖化による夏の猛暑日の増加や巨大台風の出現といった、これまでにない規模の災害が頻発しているなど大きく変化しており、それらに対応した安全・安心な街づくりも求められています。更に、私たち生活者目線で見ると、狭い道路が多い、地域住民が気軽に集まれる場所が不足している、バリアフリー化がまだ十分でない等といった課題があることを共有しました。

こうした現状・課題を共有した中で「居住環境」については、魅力的な住宅地や持続可能・身近なまちとして、多くの人が港区に住みたいと思い、地域への愛着を醸成していくため、ボーダーレスなコミュニティづくりや、住み続けたいくなるまちづくり

に向けた取組について議論しました。

「魅力ある街並み景観の形成」については、気候変動による環境の変化等を踏まえ、景観を見た目の視点だけでなく、機能の視点としてどうあるべきか、更には見て、歩いて、体験して楽しいまちとすることで、景観の美しさと高度な都市機能のバランスの取れたまちとしていくための取組について議論しました。

「公園・緑・水辺」については、子どもから大人、外国人、障害者も含めた多様な人々が楽しみ、親しめるように公園・緑・水辺として必要な機能や区民参画について、ハード、ソフトの両面からの取組を議論しました。

以上のような議論を積み重ねていくことで、港区が地域のつながりを感じ、美しさと高度な都市機能が集約された街並みとして、誰もが住みたい、訪れたいと感じる街となってほしいという思いを込めて、第1グループの提言を取りまとめました。

この提言が、令和3（2021）年度からの次期港区基本計画に反映され、市街地の中に豊かな緑や水辺を感じ、環境の変化やグローバル社会に対応した誰もが住みやすく訪れやすいまちとして魅力あふれる港区が実現されることを期待します。

# 提言の体系

テーマ		提言内容（具体的な事業）	
居住環境	魅力的な住宅地	○細街路の拡幅の推進	
		○コミュニティ活動拠点の整備	
		○誰もが住民サービスを受けられる仕組みの構築	
		○港区ならではの魅力ある道路づくり	
		○デジタルサイネージ等を活用した情報発信	
		○マンション空き室の動向調査	
	持続可能・身近なまち	○案内表示の多言語化	
		○地域特性を知ることのできる案内表示の設置	
		○インフラの見直しによる機能の向上	
		○地域で便利に生活するためのインフラ整備	
魅力ある街並み 景観の形成	緑	○木の日影で休める環境の確保	
		○木の苗、花・野菜の種の配布	
	夜間景観	○公共施設でのライトアップやプロジェクションマッピングの実施	
	ランドマーク・シンボル	○ランドマークによる景観づくりの推進	
		○昭和を感じる景観資源の保全	
	街並みの統一感	○商店街の統一した街並み景観の形成	
		○支所ごとのコンセプトカラーの設定	
	景観を損なうものをなくす	○無電柱化の推進	
その他	○港区景観街づくり賞等の募集における SNS 等の活用		
公園・緑・水辺	○周辺環境や利用者に合わせた公園機能の見直し・充実		
	○環境の変化に対応した緑の充実		
	○親しみやすく利用しやすい水辺環境の整備		

第1グループ  
【街づくり分野】

第2グループ  
【防災・生活安全分野】

第3グループ  
【環境・リサイクル分野】

第4グループ  
【地域コミュニティ分野】

第5グループ  
【国際化・文化分野】

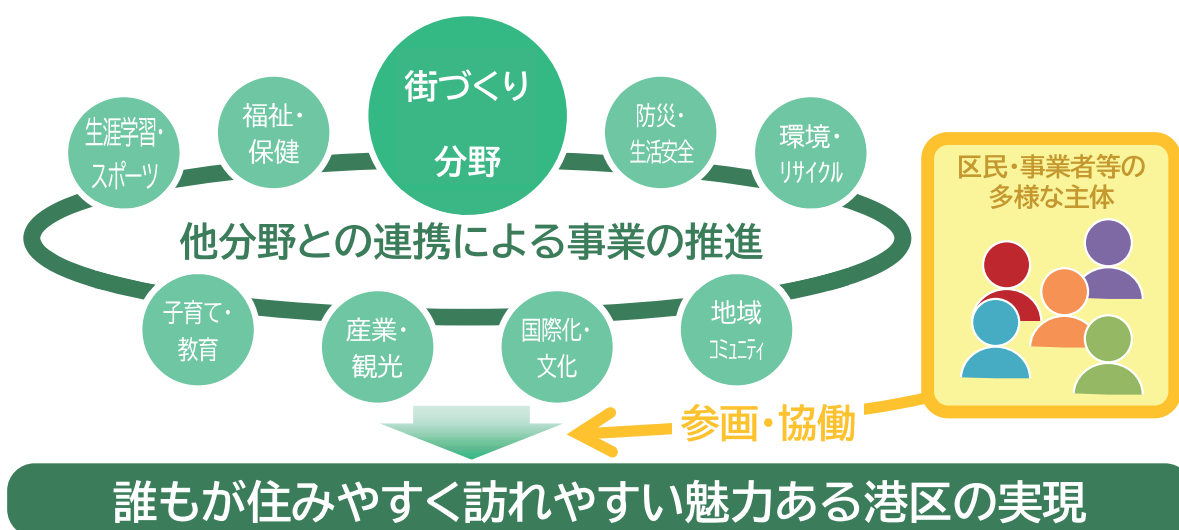
第6グループ  
【産業・観光分野】

第7グループ  
【子育て・教育分野】

第8グループ  
【生涯学習・スポーツ分野】

第9グループ  
【福祉・保健分野】

提言内容は、第1グループ（街づくり分野）の事業で完結するのではなく、他グループ事業との相互連携はもちろん、区の有形無形の資産（協定先との連携含む。）を積極的に活用し、区民・事業者等の積極的な参画や働きかけ、多様な主体の協働により、区内5地区が横断的に取り組み、実現することを期待します。



# テーマ① 居住環境／魅力的な住宅地

第1グループ  
【街づくり分野】

第2グループ  
【防災・生活安全分野】

第3グループ  
【環境・リサイクル分野】

第4グループ  
【地域コミュニティ分野】

第5グループ  
【国際化・文化分野】

第6グループ  
【産業・観光分野】

第7グループ  
【子育て・教育分野】

第8グループ  
【生涯学習・スポーツ分野】

第9グループ  
【福祉・保健分野】

## 計画最終年度末(令和8年度末)における港区の将来像

### ボーダーレスなコミュニティづくり

住民同士が互いに理解しながら助け合う、誰もが住みやすく、区民が誇りに思えるまちを実現する。

### 実現に向けた課題

- 映画やドラマのロケ地に使ってもらえるような、多くの人が港区に住みたいと思えるまちにする。
- 狭い道路は防犯上や道路交通上危険なため民地も協力して対策を講じる。
- 地域のつながりやコミュニティを活性化させるため、地域内に気軽に集まれる場所を確保する。

### 取組の方向性

- 清潔・安全なまち
- 障害者・外国人を含め誰もが住みやすいまち
- コミュニティ活動が活発で相互の理解と助け合いが進んでいるまち
- 区民が誇れるまち

## 具体的な事業

- **細街路の拡幅の推進** 誰もが歩きやすく、安全・安心な居住環境を実現するため、住宅街等から地区を選定し、地区内の細街路の拡幅を積極的に推進する。
- **コミュニティ活動拠点の整備** 誰もが気軽に立ち寄り、集まることのできる区民の交流を促すスペースを確保する。
- **誰もが住民サービスを受けられる仕組みの構築** 高齢社会が進展する区内において、生活圏で買い物や医療・福祉、行政サービス等のニーズを調査して実態を把握し、ニーズに応じた対策を講じる。
- **港区ならではの魅力ある道路づくり** 区民が誇れる街並みの創出のため、特徴ある道路へのネーミング、配色を切り替えることで季節を感じられる街路灯の設置、港区の木や地域に馴染みある木など特色ある街路樹の植樹、ちいばすのバス停のデザイン性の充実化を行う。
- **デジタルサイネージ等を活用した情報発信** デジタルサイネージ等を活用した区や地域の情報発信を、まずは工事現場に設置されたものから利用できるよう協力を要請し、技術面、費用面、ニーズを確認しながら、将来的には、今後の区や地域の掲示板「デジタル掲示板」として設置していくことを検討する。
- **マンション空き室の動向調査** 港区内のマンションの適切な管理に向けて、空き室の状況について定期的の実態を把握する。

## 参画と協働の推進(区民等の事業への携わり方)

- 広報・啓蒙活動など周囲の人へ参加を呼びかけながら街の美化運動を推進する。
- 地域が主体となって、イベントの実施や、外国人との交流を積極的に行うなど、地域の特色あるコミュニティ活動を充実する。
- 移動販売店舗等の事業者への誘致に取り組む。



# テーマ① 居住環境／持続可能・身近なまち

## 計画最終年度末(令和8年度末)における港区の将来像

### 地域内のつながりが深まり、住み続けたいくなるまち

誰もが移動しやすく、不自由のない利便性の高い居住環境が整い、地域への愛着が醸成され、住み続けたいと思えるまちを実現する。

### 実現に向けた課題

- 高輪ゲートウェイ駅周辺等の開発が進み、今後さらにグローバル化が進む中で、外国人も住みやすいまちづくりを考えていく。
- 区民が区の歴史や特性に興味をもつ掲示板等をもっと設置する。
- 高齢者や障害者に対応したバリアフリーや、人口減少時代に向けたインフラのあり方を考えていく。

### 取組の方向性

- 簡単・自由に移動できる環境の充実
- バリアフリーの充実
- 地区ごとに利便性の高い居住環境の確保

### 具体的な事業

- **案内表示の多言語化** 港区内に多く居住する外国人が快適に過ごせるよう、街中の案内板や駅のサインなど、案内表示の多言語化に取り組む。
- **地域特性を知ることのできる案内表示の設置** 住んでいる地域への愛着を醸成するため、公園・水辺等において地域の歴史や特色を知ることができる案内表示を設置する。
- **インフラの見直しによる機能の向上** 区内を誰もが移動しやすい環境となるよう、道路や歩道橋のバリアフリー化や店舗の前の段差解消を推進する。

- **地域で安全で便利に生活するためのインフラ整備** 地域と協議しながら、商店街をはじめとして歩行者優先の道路づくり（スクランブル交差点化や立体的に見える路面標識の採用等）を推進する。

ちいばすの位置情報システムをスマートフォンでも対応可能とするなど、ちいばすで移動しやすい環境整備やIT化等を含めたインフラ整備、生活利便施設等の導入を検討する。

### 参画と協働の推進(区民等の事業への携わり方)

- 広報・啓蒙活動など、周囲の人へ参加を呼びかけながら、街の美化運動を推進する。
- 地域主体のイベントの実施や、外国人との交流を積極的に行うなど、地域の特色あるコミュニティ活動を充実する。
- 移動販売店舗等の事業者への誘致に取り組む。

## テーマ② 魅力ある街並み景観の形成

第1グループ  
【街づくり分野】

第2グループ  
【防災・生活安全分野】

第3グループ  
【環境・サイクル分野】

第4グループ  
【地域コミュニティ分野】

第5グループ  
【国際化・文化分野】

第6グループ  
【産業・観光分野】

第7グループ  
【子育て・教育分野】

第8グループ  
【生涯学習・スポーツ分野】

第9グループ  
【福祉・保健分野】

### 計画最終年度末(令和8年度末)における港区の将来像

#### 景観の美しさと高度な都市機能のバランスの取れた、輝くまち

良いものはより良くなり、良くないものは無くなることで、見た目と機能がバランスよく配慮された魅力あふれるまちを実現する。

### 実現に向けた課題

- 緑は景観的に良いだけでなく、夏場の日影づくりに考慮する。
- 夜は暗い場所も多いので、都心部の街として夜も楽しく、安全なまちにする。
- 区内の街並みに特徴を出すため、街ごとに統一感を出し、シンボルを生み出す。
- 電柱等はなくし、すっきりとした街並みにする。

### 取組の方向性

#### [見た目の視点]

- バランスのとれた景観
- オリジナリティのある景観
- 夜間でも明るい安全なまち

#### [機能の視点]

- 景観を損なうものを極力なくしたスッキリしたまち

#### [その他の視点]

- 見て楽しい、歩いて楽しい、体験して楽しいまち

### 具体的な事業

#### [緑]

- **木の日影で休める環境の確保** 気候の変動により猛暑が多い中で、防災面の視点に考慮しつつ、日影がしやすい木を植栽する。計画的な植替が進むよう、緑の現状や植樹が可能なスペースを調査したうえで、中長期的な植替プランを策定する。
- **木の苗、花・野菜の種の配布** 区で進めている植木市等での配布だけでなく、緑が好きになるきっかけづくりとしてより多くの区民に木の苗、花・野菜の種を配布する。

#### [夜間景観]

- **公共施設でのライトアップやプロジェクションマッピングの実施** 夜間景観を彩るライトアップやプロジェクションマッピングの周辺の街並みへの波及を期待し、公共施設での取組を充実する。

#### [ランドマーク・シンボル]

- **ランドマークによる景観づくりの推進** 区民の愛着の醸成や区外への観光PRのため、地域の歴史・文化等を踏まえたランドマークとなる景観を区民の意向を踏まえて設定するとともに、それらにキャッチフレーズを設定する。  
更に、ランドマークを起点とした景観づくりや、ランドマークを眺めることのできるスポットの周知、ベンチの設置などの環境整備を図る。
- **昭和を感じる景観資源の保全** 新しい令和の時代を迎えた中で、昭和を感じることのできる建物や界隈を感じる街並み等の景観資源の保全に積極的かつ早急に取り組む。

#### [街並みの統一感]

- **商店街の統一した街並み景観の形成** 商店街等の個性と特徴を感じられる景観形成を図っていくため、歩道の舗装デザインの工夫や、統一したフラッグ・サインの掲示を促す。
- **支所ごとのコンセプトカラーの設定** 公共施設や民間施設等の一部や公共サイン等において、支所ごとの特徴を感じられる景観形成を図っていくため、コンセプトカラーを設定する。

#### [景観を損なうものをなくす]

- **無電柱化の推進** 誰もが歩きやすく、スッキリとした景観形成を図っていくため、無電柱化を推進する。

#### [その他]

- **港区景観街づくり賞等の募集におけるSNS等の活用** SNS等での#（ハッシュタグ）やケーブルテレビ等を活用し、港区区民景観セレクション等を誰もが気軽に参加できる応募方法とする。

### 参画と協働の推進(区民等の事業への携わり方)

- 区内の景観・緑の必要性や重要性を多くの区民に理解してもらえるよう、周囲の人への情報の提供や啓蒙により、まちづくりに参加する区民を増やす。
- 配布された木の苗、花の種、野菜の種を活用し、家の周囲に彩を与える緑化に積極的に取り組む。
- 家の近くの公園や道路の植栽について、アドプト制度等による維持管理、街のごみ清掃等に積極的に参加する。
- SNS等を活用し、区の取り組みや港区景観街づくり賞等の情報を発信し、周囲の人への周知に協力する。

## テーマ③ 公園・緑・水辺

### 計画最終年度末(令和8年度末)における港区の将来像

区民の日常にうるおいを与え、来訪者が親しめる公園・緑・水辺が融合したパークエリア「みなと」の創出

誰もが親しみや賑わい、安らぎを感じられるよう各公園が機能を分担し、多様な緑が溢れ、水辺で賑わいや潤いを感じることでできるまちを実現する。

### 実現に向けた課題

- 子どもが安全・安心に遊べて、大人も憩える緑豊かな公園にする。
- 誰もが公園を訪れたいイベントの充実や、区民の意見を取り入れた公園整備を図る。
- 道路整備等によって無くなる住宅地内の公園は代替地を確保し、区民の憩いの場を充実する。
- 多様な緑を感じられるよう、既存の緑を保全していくとともに、新しい緑を創出できるスペースを確保する。
- 水辺を観光資源として活用できるよう、遊歩道と運河の機能的な連携や、水辺の賑わいを充実する。

### 取組の方向性

- 既存公園の機能や活用の方向性を見直し（静かな公園・にぎわいのある公園等）
- 普段使わない人を呼び込むイベントの充実
- 安全できれいな公園づくり
- 多様な緑・新しく大きな樹木の整備
- 区民が誇れる・PRしたくなる水辺づくり

## 具体的な事業

- ・ **周辺環境や利用者に合わせた公園機能の見直し・充実** 土地の形・アクセス・広さ等の立地環境や地域住民の人口構成の変化等を踏まえ、庭園型、運動場型、外国人も含めた交流・憩いの場型等の目的に応じた公園の機能分担と整備を進める。

### 【検討のポイント】

#### ハード面

- ・ 子供の遊び機能（芝生、遊具、花・野菜を育てられる花壇、幼児限定サイクルスペース等）
- ・ 大人の憩い機能（アート作品等、休憩・談笑等のできる屋根付き休憩施設）
- ・ 家族で楽しめる機能（ハイキングスペース（テーブル、ベンチの増設、屋根付き施設））
- ・ スポーツ機能（周回できるランニングコース等）
- ・ 交流機能（イベントスペース、道路整備等により無くなる公園の代替地の確保等）
- ・ 利便性向上機能（多言語案内板（夜間照明付）、トイレ、水飲み場、Wi-Fi環境等）
- ・ 緑化機能（ベンチに日影ができる緑、芝生等）
- ・ 防災機能（防災設備の集積、かまどベンチ、マンホールトイレ等）
- ・ バリアフリー機能（高齢者、身障者、乳母車等が安全に利用可能な遊歩道等）

#### ソフト面

- ・ 周辺住民対応（ワークショップ等による意向把握）、区民参画型の段階的な公園整備（ベンチ作り・菜園の整備、遊具の設置等）、騒音、美化、プライバシーへの配慮等
- ・ イベントの充実（イベントの誘致・開催やSNS・区ホームページでの情報発信）
- ・ 安全・美化対策（照明の明るさの調整、フットライト等の設置、清掃・設備更新の定期化、倒木や枯れ木の処理等）
- ・ 多言語掲示板での案内（園内の利用方法、マナー、外国での公園遊びの紹介等）

- **環境の変化に対応した緑の充実** 子どもから大人までの多くの世代が学べる場として、多様な生態系を意識した植物や温暖化等による環境の変化に対応した樹種の緑を区内に充実させる。

**【検討のポイント】**

- 場所の特性等に応じて、観賞用・教育用に多様な植物を植える
- 公園等を活用して地域のランドマークとなる大木を植える
- 日影のできる樹種を充実させる
- 区民菜園を充実させる

- **親しみやすく利用しやすい水辺環境の整備** 区内の水辺を誰もが親しみやすく利用しやすい環境に整備する。

**【検討のポイント】**

**ハード面**

- 水辺に面した遊歩道の確保による観光ルート化
- 水辺を楽しく歩くことのできる花や緑の充実
- 水辺の賑わいを充実するためのホテル・レストラン・物販施設・キッチンカー等の誘致
- 区民が親しむことのできる古川沿いの環境整備（開発に合わせた親水空間の整備等）

**ソフト面**

- 水辺の美化活動（植栽・砂浜の清掃等）
- プロモーションの充実（SNS活用、海苔の養殖の周知、オブジェの設置、水面を活用したプロジェクションマッピング、水辺のライトアップ等）
- 水上交通の充実（水上タクシー・バスの実施）
- 多言語掲示板での案内（水辺の利用方法、マナー等）



### 参画と協働の推進(区民等の事業への携わり方)

- 近隣公園や水辺のあり方や環境整備についての検討へ積極的に参加する。
- 公園や水辺を美しく保つためのマナー順守（ごみのポイ捨て、ベンチの独占等をなくす）を呼びかける。
- 公園や水辺でのイベント開催支援、プロモーション協力やイベントに参加する。
- 街路樹や公園の樹種選定に対する提案や、アドプト制度等による日常の周辺清掃、維持管理への協力を行う。
- 区の取り組みについてSNS等を通じて積極的に発信する。

第1グループ  
【街づくり分野】

第2グループ  
【防災・生活安全分野】

第3グループ  
【環境リサイクル分野】

第4グループ  
【地域コミュニケーション分野】

第5グループ  
【国際化・文化分野】

第6グループ  
【産業・観光分野】

第7グループ  
【子育て・教育分野】

第8グループ  
【生涯学習・スポーツ分野】

第9グループ  
【福祉・保健分野】

# 開催経過

## 第1グループ【街づくり分野】

回数	開催日時	内容
第1回	令和元年9月24日(火) 18:30~20:30	事務局紹介 グループ会議の進め方について 分野における現状と課題について リーダー及びサブリーダーの選出 検討テーマの設定
第2回	令和元年10月15日(火) 18:30~20:30	事業の課題と効果について 検討テーマ「居住環境」について ・現状と課題 ・将来像、取組の方向性
第3回	令和元年10月28日(月) 18:30~20:30	第2回グループ会議の振り返りについて 検討テーマ「居住環境」について ・将来像、取組の方向性 ・具体的な事業 ・区民の参画と協働
第4回	令和元年11月11日(月) 18:30~20:30	第3回グループ会議の振り返りについて 検討テーマ「魅力ある街並み景観」について ・現状と課題 ・将来像、取組の方向性
第5回	令和元年11月22日(金) 18:30~20:30	第4回グループ会議の振り返りについて 検討テーマ「魅力ある街並み景観」について ・具体的な事業 ・区民の参画と協働
第6回	令和元年12月9日(月) 18:30~20:30	第5回グループ会議の振り返りについて 検討テーマ「公園・緑・水辺」について ・現状と課題 ・将来像、取組の方向性
第7回	令和元年12月23日(月) 18:30~20:30	第6回グループ会議の振り返りについて 検討テーマ「公園・緑・水辺」について ・具体的な事業 ・区民の参画と協働 提言書に掲載する事業の調整
第8回	令和2年1月14日(火) 18:30~20:30	提言書について

## 街づくり分野



### 居住環境

魅力的な住宅地

持続可能・身近なまち

魅力ある街並み景観

公園・緑・水辺

### 提言 内容

テーマ①

居住環境／魅力的な住宅地

### 将来像

ボーダーレスなコミュニティづくり



### 課題・ 方向性

- 清潔・安全なまち
- 障害者・外国人を含め誰もが住みやすいまち
- コミュニティ活動が活発で相互の理解と助け合いが進んでいるまち
- 区民が誇れるまち

### 事業

- 細街路の拡幅の推進
- コミュニティ活動拠点の整備
- 誰もが住民サービスを受けられる仕組みの構築
- 港区ならではの魅力ある道路づくり
- デジタルサイネージ等を活用した情報発信  
⇒工事現場でみかけるデジタルサイネージ付きの工事現場囲いへの  
情報発信協力依頼から
- マンション空き室の動向調査

提言  
内容

テーマ①

居住環境／持続可能・身近なまち



将来像

地域内のつながりが深まり、住み続けたいくなるまち

課題・  
方向性

- 簡単・自由に移動できる環境の充実
- バリアフリーの充実
- 地区ごとに利便性の高い居住環境の確保

事業

- 案内表示の多言語化
- 地域特性を知ることのできる案内表示の設置
- インフラの見直しによる機能の向上
- 地域で安全で便利に生活するためのインフラ整備

参画と  
協働

- 広報・啓蒙活動など周囲の人へ参加を呼びかけながら街の美化運動の推進
- 地域主体のイベントなど、地域の特色あるコミュニティ活動の充実 等

提言  
内容

テーマ②

魅力ある街並み景観の形成



将来像

景観の美しさと高度な都市機能の  
バランスの取れた、輝くまち

課題・  
方向性

- [見た目の視点] ○バランスのとれた景観
- [機能の視点] ○景観を損なうものを極力なくしたスッキリしたまち 等

事業

緑

- 木の日影で休める環境の確保
- 木の苗、花・野菜の種の配布

夜間景観

- 公共施設でのライトアップやプロジェクションマッピングの実施

ランドマーク・  
シンボル

- ランドマークによる景観づくりの推進
- 昭和を感じる景観資源の保全

街並みの  
統一感

- 商店街の統一した街並み景観の形成
- 支所ごとのコンセプトカラーの設定

除去

- 無電柱化の推進

その他

- 港区景観街づくり賞等の募集におけるSNS等の活用

参画と  
協働

- 周囲の人への情報の提供や啓蒙によるまちづくりに参加する区民の増加
- 配布された木の苗等を活用し、家の周囲に彩を与える緑化に取り組む 等

提言  
内容

テーマ③  
公園・緑・水辺



将来像

区民の日常にうるおいを与え、来訪者が親しめる  
公園・緑・水辺が融合したパークエリア「みなと」の創出

課題・  
方向性

- 既存公園の機能や活用の方向性の見直し
- 区民が誇れる・PRしたくなる水辺づくり 等

事業

○周辺環境や利用者に合わせて公園機能の見直し・充実

**ハード** 子供の遊び機能、大人の憩い機能、家族で楽しめる機能、スポーツ機能 等

**ソフト** 区民参画型の段階的な公園整備、イベントの充実、多言語掲示板 等

○環境の変化に対応した緑の充実

**ポイント** 観賞用・教育用に多様な植物の植栽  
日影のできる樹種・区民菜園の充実 等

○親しみやすく利用しやすい水辺環境の整備

**ハード** 遊歩道、賑わいの充実、古川の環境整備 等

**ソフト** オブジェの設置、プロジェクションマッピング、水上交通の充実 等

参画と  
協働

- 近隣公園や水辺のあり方や環境整備についての検討へ積極的に参加
- マナー順守(ごみのポイ捨て、ベンチの独占等をなくす)の呼びかけ 等

まとめ

多様な主体の協働により、区内5 地区が横断的に取り組み、提言  
を実現することを期待します



誰もが住みやすく訪れやすい魅力ある港区の実現

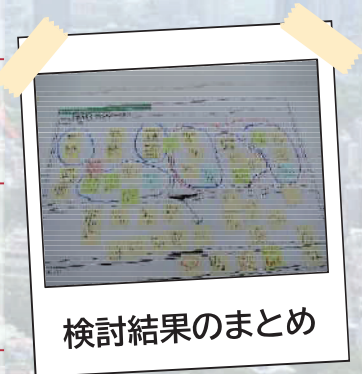
## 検討テーマ

- ① 居住環境
- ② 魅力ある街並み景観
- ③ 公園・緑・水辺

第1回	9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事務局紹介</li> <li>○分野における現状と課題について</li> <li>○検討テーマの設定</li> </ul>
第2～3回	10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○テーマ① 居住環境</li> <li>・現状と課題、将来像・取組の方向性</li> <li>・具体的な事業、区民の参画と協働</li> </ul>
第4～5回	11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○テーマ② 魅力ある街並み景観</li> <li>・現状と課題、将来像・取組の方向性</li> <li>・具体的な事業、区民の参画と協働</li> </ul>
第6～7回	12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○テーマ③ 公園・緑・水辺</li> <li>・現状と課題、将来像・取組の方向性</li> <li>・具体的な事業、区民の参画と協働</li> <li>○提言書に掲載する事業の調整</li> </ul>
第8回	1月	○提言書について



グループ会議の様子



検討結果のまとめ

みなとタウンフォーラム  
街づくりグループ（第1グループ）

会議録（第1回）

■開催日時・場所・出席者

日時：令和元年9月24日（火）18時30分～20時10分

会場：港区役所9階 912会議室

メンバー：9名（欠席無し）

事務局：対応部門関係課長9名（都市計画課長、住宅課長、建築課長、土木管理課長、開発指導課長、再開発担当課長、品川駅周辺街づくり担当課長、土木課長、地域交通課長）、企画課グループ担当1名、サポートメンバー1名、委託事業者2名

■次第

（開会）

- 1 事務局紹介
- 2 グループ会議の進め方について
- 3 分野における現状と課題について
- 4 リーダー、サブリーダーの選出
- 5 検討テーマの選定
- 6 その他

（閉会）

■配付資料

資料番号	資料名
1	事務局名簿
2	グループ会議の検討スケジュール
3	提言の構成について
4	グループ会議の進め方について
5	検討希望テーマ集計結果

■貸与資料

資料番号	資料名
1	港区基本計画・港区実施計画

## ■会議要旨

### (開会)

事務局より、第1回グループ会議開催にあたっての挨拶及び開会宣言を行った。

#### 1 事務局紹介

事務局より、配布資料1に基づき、事務局メンバーの紹介を行った。

#### 2 グループ会議の進め方について

##### ○検討スケジュール

事務局より、配布資料2に基づき、活動日程や内容について説明を行った。

##### ○提言の構成

事務局より、配布資料3に基づき、提言の構成について説明を行った。

##### ○会議の運営手法

事務局より、配布資料4に基づき、付箋やホワイトボードを用いた手法について説明を行った。

#### 3 分野における現状と課題について

事務局より、港区基本計画に基づき、街づくりに関連する事業計画化事業について概要の説明を行った。

#### 4 リーダー、サブリーダーの選出について

グループ会議運営にあたってのグループリーダー、サブリーダーがメンバーの互選により選出された。リーダー、サブリーダーより、就任挨拶が行われた。

#### 5 検討テーマの選定について

事務局より、配布資料5に基づき、参加者へ事前に調査した検討希望テーマの集計結果について説明を行った。集計結果としては、多い順に、「魅力ある街並み景観の形成」と「公園・緑・水辺」が同率、次いで「良好な居住環境の整備」、「交通まちづくり」、「その他」となった。

集計結果を踏まえて、検討テーマについて議論が行われた。

### (主な意見等)

参加者：事業費の大小によって分野の広さがあり、大きなものはまとめるのが大変だが、やりがいもあるかもしれない。また、過去の事務事業評価を見ると、継続案件が95%以上となっている。既に推進されている事業に対しては意見が反映されづらい面もあるかもしれない。

参加者：基本計画の事業はどのように決まっているのか。

事務局：基本計画に掲載している計画計上事業は、各部に照会をかけた上で取りまとめている。

参加者：事業計画地はどのように決まるのか。

事務局：道路であれば、優先順位を付けて年度毎に進捗を計画している。他の事業についても同じように各担当部署で優先順位を決めている。

参加者：具体的な場所等について、これまであまり説明を受けたことがない。どのように意見を



くみ上げて、決まっているのか。

事務局：公園や道路は、港区だけでなく東京都とも調整しながら整備の優先順位を検討しており、パブリックコメント等を実施した上で決めている。基本計画の策定にあたっては、パブリックコメントや区民説明会を実施している。

参加者：事業実施までの流れを理解するのは大事だと思う。テーマを選ぶ際は、港区ならではの点を意識した方が良いのか。

事務局：港区ならではの点にこだわる必要はない。一般的な視点で議論し、その中で港区としてはこうしたことをやった方が良いというまとめでも良い。

例えば、大きく3つのテーマに希望が偏っているが、交通まちづくりについても、議論したいテーマによっては3つのテーマに組み込めるかもしれない。交通まちづくりを希望した人の意見を聞いてみてはどうか。

参加者：交通まちづくりを希望したのは、環状第4号線の道路整備事業が進められているが、住宅地に新しい道路を整備することから住民への影響が大きく、まちづくりガイドラインを住民の意見を聞きながら策定してほしい。テーマとしては、「良好な居住環境の整備」に組み込めなくもないが、その中で簡単にまとめられる内容ではないと思う。

事務局：「良好な居住環境の整備」に入れるにしても、サブテーマの一つとして組み込むことも考えられる。

参加者：道路ができることで、交通面や魅力ある街並みとなるといったプラス面だけでなく、コミュニティが分断されるといった負の面もある。「良好な居住環境の整備」ではまとめられない部分があると思うが、テーマ名は変わっても問題ないのか。

事務局：あくまでも調査の際に設定したテーマのため、変えても問題はない。今後、検討を進めていく中で決めても構わない。

参加者：「その他」として、工事現場の景観についての意見を書いた。工事現場は隔離感が出てしまい、大規模であれば数年間もその状態となる。コミュニティの一部として、街にわくわく感を持たせられるようにできればよいと思う。これは「魅力ある街並み景観の形成」に含めることでよい。

「バリアフリーのまちづくり」がテーマとして抜けるがそれは問題ないのか。

事務局：提言がなかったからといって区として事業を計上しないということではない。また、バリアフリーの視点については他のテーマの中でも意見として出てくる可能性はある。

リーダー：では、「良好な居住環境の整備」、「魅力ある街並み景観の形成」、「公園・緑・水辺」を大きなテーマとして意識しつつ、色々と意見を挙げていただきながら議論を深めていければよい。

事務局：議論する順番を決めたいと思う。第2回グループ会議では一つのテーマについて「現状と課題」、「計画最終年度における将来像の検討」、「取組の方向性」を議論してもらい、第3回では「具体的な事業」、「区民の参画と協働」を議論していただく。

参加者：課題を話し合う上で、区が想定している課題を説明してもらえるのか。それとも、我々で議論して整理していくのか。

事務局：日頃、港区に住み、働く中で感じる現状や課題を話し合い、まとめていく。そのために必要な資料があれば、事前に要求していただければ事務局で用意する。

参加者：前回のみなとタウンフォーラムで出された現状や課題、解決策を知りたい。それが無い

と、同じような議論になってしまう可能性がある。

事務局：前回のみなとタウンフォーラムの活動に関する議事録や提言の内容がまとめられている資料が区ホームページで公開されているので、そのアドレスを皆さんにメールでお送りさせていただきます。

参加者：「良好な居住環境の整備」や「魅力ある街並み景観の形成」、「公園・緑・水辺」は議論の内容が重なる可能性があるので、まず「良好な居住環境の整備」を議論し、その中で他のテーマに送るべき内容も合わせて整理してはどうか。

事務局：では、今回は「良好な居住環境の整備」から議論を始めて、その中で他のテーマに送る内容があれば整理することとさせていただきます。

リーダー：次回の議論で最低限、決めないといけない内容は何か。

事務局：検討テーマに関する現状や課題、将来像、方向性について、整理していただきたい。

事務局：当日の議論の流れについては事務局で整理させていただきます。

## 6 その他

事務局より次回の開催日程等の確認を行った。また、リーダーにより、次回までに「良好な居住環境の整備」について、現状や課題に関する意見を各自まとめてくることが確認された。

### (閉会)

リーダーが第1回グループ会議の閉会を告げ、終了。

以上

みなとタウンフォーラム  
街づくりグループ（第1グループ）

会議録（第2回）

■開催日時・場所・出席者

日時：令和元年10月15日（火）18時30分～20時30分

会場：港区役所5階 512会議室

メンバー：8名（欠席1名）

事務局：対応部門関係課長7名（都市計画課長、住宅課長、建築課長、土木管理課長、開発指導課長、地域交通課長、高輪地区総合支所まちづくり課長（代理））、企画課グループ担当1名、サポートメンバー1名、委託事業者1名

■次第

（開会）

- 1 事業の課題と効果について
- 2 「居住環境」に関する意見交換
  - ・現状と課題について
  - ・意見のグループ分け、検討テーマの設定
  - ・将来像について
  - ・取組の方向性について

3 その他

（閉会）

■配付資料

資料番号	資料名
1	事業の課題と効果について
2	第一種市街地再開発事業位置図
参考資料1	第1回グループ会議 会議録

■貸与資料

資料番号	資料名
1	港区基本計画・港区実施計画

## ■会議要旨

### (開会)

リーダーより、第2回グループ会議開催にあたっての挨拶及び開会宣言が行われた。

## 1 事業の課題と効果について

事務局より、配布資料1、2に基づき、街づくりグループに関連する事業計画化事業についての課題と効果について説明を行い、以下のような質疑応答を行った。

### (主な意見等)

<環状第2号線沿道のまちづくり>

参加者：地元との協議は事業のどの段階で行ったのか。

事務局：事業が進むにつれて課題が生まれてくるため、その都度、話し合いを行ってきた。事業区間が1.4kmと長く、それぞれ状況も違うため、地権者の理解を得られるよう話し合いを行ってきた。

参加者：大規模地権者を中心に話し合いが進められてきたのか。

事務局：各地権者で構成する協議会を設立し、話し合いを進めてきた。

参加者：環状第4号線についても同じように協議会を設立するのか。

事務局：環状第4号線は一部区間で事業認可を受けており、その区間では東京都と地権者が話し合いを行って進めている。

参加者：白金台区間では東京都や区から説明等は行われているのか。

事務局：東京都は個別の相談会や説明会を昨年9月から複数回実施している。

参加者：高輪地区ではまちづくりガイドラインがあるが、白金台区間でも同じように策定する予定はないのか。

事務局：まちづくりガイドラインは、開発など地域のまちづくりの動きがある場合に策定している。白金台区間は住宅地であり、区として今後開発を促していくという考えはないため、まちづくりガイドラインを策定する予定はない。

一方で、区では、「港区まちづくり条例」に基づく区民主体のまちづくりを支援している。専門家の派遣や出前講座の開催などを行い、ハード面だけでなく、ソフト面のまちづくりを含んだまちづくりビジョンを地域主体で策定することができる。

参加者：区として開発を促していく予定はなくても、実態としては事業者の開発動向がある。開発により住環境は大きく変わるので区としても指導をすべき。

事務局：区としてはまちづくりに関して相談できる窓口を各地区総合支所まちづくり課に用意している。また、大規模な開発があるということであれば、法律に基づき事前協議等の手続きが行われ、その中で指導をしていく。

<運河に架かる橋りょうのライトアップ>

参加者：橋りょうのライトアップにより、防犯面の効果もあるのか。

事務局：橋の下や欄干をライトアップしているが防犯面の効果は少ないと考える。

参加者：ライトアップはどの程度の橋りょうで進める予定なのか。

事務局：芝浦地区では19箇所あり、その内の10箇所でライトアップする予定である。現行の基本計画では5箇所を計上し、現在は2箇所が完了している。

参加者：海外では水辺の建物をライトアップしている。住宅地内の橋りょうだけでなく、民間と連携して街としてライトアップすることに取り組んではどうか。

事務局：橋りょう以外にも、運河沿いの散策道では、歩いている人が楽しめるように水面を照らして楽しんでもらう工夫を行っている。

#### <歩道の整備・自転車走行空間整備の推進>

参加者：歩道が広い場合に、歩道上に自転車の走行空間を整備しているのか。

事務局：区道は歩道が広い道が少ないため、基本的には車道上に自転車ナビマークを設けている。

参加者：自転車の走行空間を確保するため、路側帯を広くしていく考えはあるのか。

事務局：路側帯が十分取れる箇所であれば考えられるが、狭い箇所については50cmのナビマークを引いている。

参加者：ナビマーク等の整備で事故件数は減っているのか。

事務局：区内の交通事故件数は減少傾向にある。

#### <市街地再開発事業への支援>

参加者：再開発はどこのエリアで行われているのか。

事務局：配布資料2で、区内の第一種市街地再開発事業の位置を示している。今後、再開発が進むエリアもあり、地権者の合意に時間がかかるが、再開発は街区の細分化の解消や、道路・公園の整備などの効果があることから区も支援している。

参加者：高輪ゲートウェイ駅の開発により、人の流れが変わるので周辺の商店街へ影響が出てくると思うが、区としてはどのように関わっているのか。

事務局：スーパーなど買い物できる店舗が少ないという地元意見があるため、開発の際に生活利便施設を誘致するよう指導している。また、高輪から芝浦に抜ける道が非常に狭く、開発と合わせて拡幅して相互通行できるように整備する。このように開発に合わせて、地域の課題を解決していけるように取り組んでいる。

#### <既存民間建築物の耐震化の促進>

参加者：進捗管理は行われているのか。

事務局：都と連携している事業であり、進捗管理は各区で実施している。また、区ではマンション管理の専門相談や耐震アドバイザー派遣などの支援を行っている。

#### <水辺の散歩道の整備>

参加者：この事業はお台場のビーチも含まれているのか。

事務局：港湾局が運河の耐震護岸を整備している上部を区が散歩道として整備する事業である。

参加者：古川の護岸を歩けるように整備するのは難しいと思うが、見て美しい護岸に整備することはできないか。

事務局：区内で古川の親水護岸として、白金公園と新広尾公園を整備している。また、古川は護岸まで建物が建っている箇所が多く整備ができない部分が多いが、白金や三田小山町の再開発があるエリアでは再開発に合わせて護岸を改修している。

#### <遮熱性舗装等の推進>

リーダー：遮熱性舗装は赤外線を反射するのに有効だが、逆に空気中の温度が上がり、選手への影響があると聞いたことがある。

事務局：気化熱で温度を下げる保水性舗装もあるが、水をまかないと効果がないため、現時点で一番効果があるものとして、都と区では遮熱性舗装に取り組んでいる。

## 2 「居住環境」に関する意見交換

検討テーマ1「居住環境」に関する課題、将来像、方向性について意見を出し合い、議論が行われた。

### (主な意見等)

参加者：電線類の地中化は、市街地やオフィス街では進んでいるが住宅地では進んでいない。

事務局：電線の地中化を実施するためには地上機器を設置する道路幅員が必要だが、住宅地の道路は狭い箇所が多く、技術的に地中化できない部分が多いことが課題となっている。港区は23区内でも進んでいる方ではあるが、技術的な課題でできないエリアも多くある。

参加者：家の前の道路は電線が多いので、災害時に電柱が倒れたりしないか心配である。

事務局：先の台風での千葉県の場合もあり、電線類の地中化は注目されている。港区では先進的に開発に合わせて地中化に取り組んでいる。

参加者：地上機器を地下に埋めることはできないのか。

事務局：災害時のメンテナンスも必要となるため、地下に埋めることは技術的に困難である。他の手法として、電線類を地中化して電柱の上にトランスを置く方法があるが、電柱が地上に残ることになる。

参加者：電線類の地中化は東京都主導のイメージだが違うのか。

事務局：港区では平成8年から地中化に取り組んでおり、区道を中心に進めている。

参加者：赤坂2丁目は地中化が進んでいるイメージだが、区道になるのか。

事務局：赤坂では地上機器を置ける幅があるので進められる。また、民有地を永続的に貸していただける箇所があれば、実施できる箇所もある。

参加者：商業地で進めて、上手くいった方法を住宅地に広げていければよい。

参加者：芝浦港南地区で気になっているのが犬の糞が多い。

また、防災的な視点でいくと、倒木による被害があるのではないかと。ただし、この議論を突き詰めると街路樹を無くすという話になってしまうので、それも違うとは思う。

3点目としては、周りの友人等に聞くと痴漢の被害にあって怖いという意見も聞く。これも大きく捉えれば居住環境になると思うので、危険人物の情報等がわかるようなシステムがあるとよい。

参加者：そういった情報がもらえるアプリが区で既にあったのではないかと。

事務局：防災課で痴漢等の事案があれば、事前にメールを登録していただくことで、情報を配信する「みんなと安全安心メール」サービスがある。

参加者：事件が発生してからではなく、プライバシーの問題もあるが前科者についての情報提供等もあるとよい。

タワーマンションが多いので、避難所のキャパシティは大丈夫かという不安はある。また、タワーマンションの住民は防災面に対する意識が低いような気がする。

参加者：タワーマンションは武蔵小杉の件もあるので、タワーマンション毎で防災に関する啓蒙を行うべきだと思う。区としてもそういった指導をしていくことが必要ではないかと。

参加者：避難場所の位置はわかっているけど、実際にその場所に行く機会はない。例えば、オリピックの機会を通じて、避難場所をボランティアの人の泊まる場所として、実際に行って泊まる機会をつくることで、受け入れ側のトレーニングにもなるのではないかと。

事務局：避難場所は、防災訓練の実施に合わせて周知している。今回の台風の際も、避難場所の開設情報をメールで配信している。オリンピックの関連としては、区立お台場学園を外国人に貸して練習場所としている。ただし、24時間開放するにはセキュリティの問題で常に人を配置しないとイケないといった課題もある。

参加者：高輪ゲートウェイ駅の開発等もあり、ますます外国人も多くなるため、グローバルな視点のまちづくりが必要になると思う。また、港区ではまだ人口が増えているが、将来的には人口が減少するため、それを見据えたコンパクトシティのあり方も考えておく必要がある。また、国立競技場のまちづくりなど隣接区との連携も考える必要があると思う。白金から恵比寿を通る際、恵比寿の方は景観が整っているのに対して、白金は古い商店街のままという感じがする。一緒に景観にする必要はないが、連続性の中でそういった点も連携していけるとよい。

参加者：工事現場の柵は無機質となっているので、建築される建物のイメージや設計者の思いをディスプレイ等を用いてPR出来ればよい。また、夜は防犯面に配慮して灯りをつけるといった配慮があるとよい。

別の視点として、映画やドラマのロケ地となりやすい仕掛けに取り組むことで、港区に住んでみたいという人が増えるのではないかな。

参加者：近年の災害はこれまでと次元が違うレベルとなっているので、それに合わせた対策を考えていく必要がある。

次に、高齢者や外国人等のモビリティの問題がある。外国人に対しては多言語化の標識が必要であり、高齢者としては駅等のバリアフリーの問題がある。例えば田町駅のエレベーター・エスカレーターの位置はどこにあるのかわかりづらい。

次に、外国人観光客の集客という視点で水辺の取り組みを充実していければよい。水上交通等を充実させて、水上タクシーで乗り入れられるレストラン等があるとおもしろいのではないかな。

次に、省エネに取り組むことが重要だと思う。事業用ビルに太陽光発電や蓄電施設を設置し、一つひとつのビルの発電量は小さくてもそれを繋げることで、十分な発電は期待できるのではないかな。

最後に、日本の公園は使い方が限定され過ぎていると思う。札幌市では公園でBBQができる箇所があったり、大通り公園では年中イベントをやったりしており、それにより観光客の誘致に貢献している。港区も立派な公園が多いので活用していった方がよい。

参加者：素敵なものと感じるのが地域のまつりである。高輪地区では色々な祭りが行われているが、一部ではなくなったものもある。地域の祭りを活性化することで人と人の繋がりが生まれてくると思う。

また、商店街の活性化も地域の繋がりのためにも重要だと思う。区としてできるのが資金面なのか、出店店舗の誘導なのかはあるが、取り組む必要はある。

区外の人が港区に住まない理由の一つとして、セブなイメージがあることだと思う。土地が高く、車も持ちづらい状況となっているので、シェアサイクルのように、カーシェアについてももっと盛り上げていければよい。

参加者：老朽化した塀を安全にしていける必要がある。個人の財産を区のお金で直すのは難しいかもしれないが、区として何か支援できないかな。

また、空家対策に取り組む必要がある。家の近所に空家があり、ハクビシンの巣になっている。良好な居住環境のためには空家を放置しておく課題が多くなる。

また、細街路の問題がある。住宅地内には私道となっており、狭くて行き止まりの箇所が多い。4 mにならないと区道にならないが、個人として高い土地を買った一部を道路に供出するのは嫌だという考えで、なかなか道路が広くならないのはどうにかする必要がある。

参加者：区からの情報には魅力的なものがあるが、その情報を伝える街の掲示板が地味なため、情報が埋もれてしまっているのではないかと。せっかくの良い情報が伝わらない。

参加者：防犯カメラの設置を進める必要があると思う。

事務局：町会単位で防犯カメラを設置するための助成制度を防災課で実施している。

リーダーとサブリーダー、事務局で居住環境の現状・課題に関する意見をグループ分けし、「持続可能」、「身近なまちづくり」、「魅力的な住宅地」、「グローバル」、「水辺」、「防災・防犯」に集約し、確認を行った。また、「水辺」については今後のテーマで検討し、「防災・防犯」は別グループでの検討項目であることの確認を行った。

リーダー：現状・課題について集約を行ったので、この後は時間の関係もあるため、この中から1つのテーマについて将来像・取組の方向性を話し合っていきたいと思う。議論しやすいようなテーマとして、まずは「魅力的な住宅地」について検討したいと思う。

区内外の人が魅力的に感じる住宅地とはどういったものか。

参加者：グローバル化についても魅力的な住宅地に含めて、外国人にとっても住みたいまちにしていく必要がある。

参加者：コミュニティという概念があると良い。物理的な住みやすさだけでなく、人の繋がりも大事である。

参加者：安心して生活できるということも重要である。区民が誇れるというキーワードも良い。

参加者：清潔できれいなまちも必要ではないか。

参加者：外国人だけでなく、障害者にも住みやすいまちにしていく必要がある。

参加者：ボーダーレスがキーワードではないか。

参加者：これまでの話を包括していて、良いキーワードだと思う。

参加者：コミュニティという言葉も重要ではないか。

参加者：では、ボーダーレスなコミュニティづくりというのは将来像としてどうか。

リーダー：良いと思う。本日の意見交換はここまでにしたいと思う。残りは次回に行い、合わせて、事業等について議論していきたい。

### 3 その他

事務局より次回の開催日程等の確認を行った。

(閉会)

リーダーが第2回グループ会議の閉会を告げ、終了。

以上



みなとタウンフォーラム  
街づくりグループ（第1グループ）

会議録（第3回）

■開催日時・場所・出席者

日時：令和元年10月28日（月）18時30分～20時30分

会場：港区役所5階 512会議室

メンバー：7名（欠席2名）

事務局：対応部門関係課長8名（都市計画課長、住宅課長、建築課長、土木管理課長、開発指導課長、土木課長、地域交通課長、芝地区総合支所まちづくり課長）、企画課グループ担当1名、サポートメンバー1名、委託事業者1名

■次第

（開会）

- 1 第2回グループ会議の振り返りについて
- 2 「居住環境」に関する意見交換
  - ・将来像について
  - ・取組の方向性について
  - ・具体的な事業について
  - ・参画と協働について

3 その他

（閉会）

■配付資料

資料番号	資料名
1	第2回グループ会議の意見のまとめ
参考資料1	みなとタウンフォーラムグループ一覧
参考資料2	第2回グループ会議 会議録

■貸与資料

資料番号	資料名
1	港区基本計画・港区実施計画

## ■会議要旨

### (開会)

リーダーより、第3回グループ会議開催にあたっての挨拶及び開会宣言が行われた。

#### 1 第2回グループ会議の振り返りについて

事務局より、配布資料1に基づき、第2回グループ会議の意見の振り返りを行った。

#### 2 「居住環境」に関する意見交換

「居住環境」に関する課題、将来像、取組の方向性について意見を出し合い、議論が行われた。

### (主な意見等)

リーダー：まず、持続可能について議論を進める。

参加者：カーシェアリングなど、個人が簡単で自由なモビリティで移動できることを将来像として示したい。

参加者：港区には駅が約30か所あり、最終的に全ての駅の案内表示を多言語化するのであれば、多言語化のワードが将来像にあってもよいのではないか。

参加者：将来像はキーワードである持続可能そのものでもよいのではないか。

参加者：カーシェアリングをどのように進めるのかという問題提起として将来像にシェアリングエコノミーを取り入れてもよいのではないか。

参加者：他のグループと重ならないという意味では、シェアリングエコノミーやコンパクトシティが視点としてはよいかもしれない。

観点は別かもしれないが、持続可能という意味では橋の改修やメンテナンスの話がある。その中で、歩道橋は高齢化が進む中で減らしていく方向もあるのではないか。今あるものを使い続けられないという選択肢もある。

参加者：インフラの問題はまちづくりチームから提起すべき要素である。持続可能なインフラという意味で、これからは財政的なことも踏まえて簡略化や整理統合していくことも必要だと思う。

参加者：持続可能としてはハード面だけでなくコミュニティの要素もある。リーダーシップのある方だけに頼っていると、その人がいなくなった時に持続できないため、ソフト面の体制づくりでも取り組んでいかないといけない。

参加者：持続可能というのは人が住み続けるということで、逆に人が住み続けられなくなる状態を考えると、商店街がどんどんなくなり、買い物が不便になることや、交通の利便性が悪いことがあると思う。

参加者：大手スーパーが、商圈を広げるために高齢者の所へ移動販売を始めたというのをテレビで見た。そういった企業を誘致していければよいと思う。

参加者：住み続けるというのはよい言葉ではないか。持続可能という4文字だと難しく、小さくまとまってしまう気がする。

参加者：シェアする地域ということで、公園には子どもや老人が集まる。さらに、そこに外国人がいてもよくて、憩いの場や作業スペースがあれば地域のつながりになる。

リーダー：続いて、身近なまちづくりについて議論を進める。

- 参加者：コンパクトシティは、近くにスーパーがあることや、手の届く範囲に自分がしたいものがそろうというイメージがある。
- 参加者：身近なまちづくりについて、自分の周りで考えると共用で使えるスペースが必要ではないか。例えば、いきいきプラザがあるが使いたい時に予約が取れないこともある。身近なまちづくりを考える時に、仲間が集まって過ごせる場所として公園等があればよいと思う。施設の量としては確保されているのかもしれないが、現状ではあまり使えない状況にある。
- 参加者：使えるということを知らない人も多いかもしれない。
- 参加者：周知されていない面もあるし、知っていても使わない人もいる。広報活動はもっとすべきだと思う。いきいきプラザがどのような施設で、何に使えて、どのように予約するのかを周知しないといけない。特に、外国人の居住者が増えてきたらどうするのかという問題もある。
- 参加者：前回の話にあった掲示板を上手く使えるとよい。利用している駅の近くに支所があるのでパンフレット等がたくさんあるが、そういった場所を訪れない人への周知に活用できるとよい。多くの人が駅を利用するので、改札を出た所に置くだけでも見る人の数は変わってくるのではないか。
- 参加者：人が集まれる例の一つとして田町に港区勤労福祉会館がある。あそこの1階のロビーには囲碁や将棋が置かれていて、そこに行くが高齢者や女性も居て、好きな時間を過ごして帰っていく。そういった誰が使ってもいい空間というのがあるとよい。
- 参加者：まさにオープンスペースの活用でよいと思う。
- 参加者：新たに場所をつくるのではなく、既存の箱物の使い勝手が悪いので、それをどうにかしていくという話でも良いのではないか。
- 参加者：建物を建てる際、地域貢献があれば規制が緩和される。高層ビルを建てる代わりに公園をつくることはよくある。その中で、保育園や老人ホームがつくられることもある。
- リーダー：この後は具体的な事業について話していきたいと思う。居住環境に関わる事業を出して、それがどこに当てはまるかを考えながら議論したいと思う。
- 参加者：区民が誇れ、区を取組を分かってもらえる名所づくりとして、例えば、道路、公園、マンションで建築中、工事中のものをいったんストップして展示するのはどうか。普通は中に入れられないものなので、一定期間、大々的に告知して、イベントのように見てもらえるとよいかもしれない。
- 参加者：魅力的な住宅地がどのようなものかというコンセプトをつくっていく必要があると思う。大規模開発の際には、周辺に既に住んでいる人や将来住む人も含めて、どのような居住環境を提供するかということコンセプトとして考えないといけない。
- 参加者：デジタルサイネージの推進は事業として入れておきたい。例えば、工事現場に設置して、工事内容を案内して、それを工事完了後は地域に必要な情報を発信するものとしてそのまま使えるとよい。また、夜には防犯としての効果も期待できる。
- 参加者：今のアイデアはよい。町会では掲示板の設置場所に困っている。建物を建てる際にデジタル掲示板をつくって、それを港区が活用できるようにするアイデアはとてもよい。
- 参加者：魅力的な住宅地にするためには細街路の問題を検討する必要がある。車のすれ違うことができない道路は魅力的な住宅地とはいえない。

参加者：拡張工事をする際に無電柱化も併せて行えるとよい。

また、例えば、交通信号は車が3分、人が1分となっているのを、エリアを決めて時間を反対にするというのはどうか。そうすると抜け道にならずに住んでいる人は安心して歩けるようになる。

参加者：交通関係でいうと、港区独自の標識があれば面白いと思う。

参加者：駅の入り口等の他言語化はどうか。

参加者：ドイツではどれだけ小さな道でも、必ず道路の名前が書いてある。東京では大きな道には名前があるが、一歩中へ入ると道路の名前がない。道路に名前を付けるのはどうか。

参加者：港区では坂に名前がついているが、由来等まで説明している。

参加者：いきいきプラザのようなオープンスペースの確保があるとよい。

参加者：先ほど話にあった将棋をする場所として使われているのはオープンスペースとして良い使われ方だと思うので、そういった使われ方を水平展開できるとよい。

参加者：オープンスペースの確保に空き家は活用できないか。もしそれを有効活用できるのであれば、買い手がいない時などの活用の視点になる。

参加者：先ほど話にあったインフラは事業として入れられないか。

参加者：魅力的な住宅地という言葉イメージすると、建物がきれいで、道路がきれいで、植栽がきちんとしている。

事務局：事業を色々と挙げていただいている中で、本日の残りの議論として参画と協働という点について、事業を進めていくにあたって区民の立場からできることについて意見をいただければと思う。

参加者：周知をさせる一番良い方法として、知り合いに伝えていくということではないか。

参加者：街並みをきれいにするという点でいうと、例えば、家の色を何種類か決めて、その中から選べば区から補助を出すという制度はつくれないか。

参加者：日本人は黙っていると、皆が自分の好きにつくるので統一は難しいが、そこに補助があると可能性はあるかもしれない。

参加者：道路も縁石の色を特別なタイルにすると、その道はとてもきれいになる。

参加者：参画や協働をするきっかけという部分として、YouTuberを使ったり、他にも漫才師とやりとりをしたりといった広報の仕方を変えることがイメージされる。

参加者：空き家について、参画と協働の視点として、家自体にドナーカードのようなものがつくれないか。持ち主が亡くなった時に街のためにこの活動に活用してほしいというものを事前に明記しておいてもらえればよい。

参加者：参画と協働の話は事業の話一度、整理した後の方がよいのではないか。

事務局：まとめとして確認しておく、大枠としては魅力的な住宅地と身近なまちづくり・持続可能な大きく2つの枠で、今後、方向性や事業をまとめていくかたちとする。

### 3 その他

事務局より次回の開催日程等の確認を行った。

(閉会)

リーダーが第3回グループ会議の閉会を告げ、終了。

以上

みなとタウンフォーラム  
街づくりグループ（第1グループ）

会議録（第4回）

■開催日時・場所・出席者

日 時：令和元年11月11日（月）18時30分～20時30分

会 場：港区役所5階 512会議室

メンバー：7名（欠席2名）

事務局：対応部門関係課長8名（都市計画課長、住宅課長、建築課長、土木管理課長、開発指導課長、土木課長、地域交通課長、麻布地区総合支所まちづくり課長）、企画課グループ担当1名、サポートメンバー1名、委託事業者1名

■次第

（開会）

- 1 第3回グループ会議の振り返りについて
- 2 「魅力ある街並み景観の形成」に関する意見交換
  - ・現状と課題について
  - ・取組の方向性について
  - ・将来像について

3 その他

（閉会）

■配付資料

資料番号	資料名
1	「居住環境」に関する意見のまとめ
参考資料1	第3回グループ会議の意見のまとめ
参考資料2	第3回グループ会議 会議録
参考資料3	港区と各自治体等連携事業について
参考資料4	区の情報発信手段
参考資料5	他グループの検討状況について

■貸与資料

資料番号	資料名
1	港区基本計画・港区実施計画

## ■会議要旨

### (開会)

リーダーより、第4回グループ会議開催にあたっての挨拶及び開会宣言が行われた。

#### 1 第3回グループ会議の振り返りについて

事務局より、配布資料1に基づき、これまで議論された「居住環境」に関する意見の振り返りを行い、サブリーダーより、意見のまとめ方の案が資料として提示された。

「居住環境」に関する提言書の作成に向けてはサブリーダーの案を基礎として検討を進めることがメンバーから了承された。

#### 2 「魅力ある街並み景観の形成」に関する意見交換

「魅力ある街並み景観の形成」に関する現状と課題、取組の方向性、将来像について意見を出し合い、議論が行われた。

### (主な意見等)

参加者：景観として港区に入ったことが感じられる色があるとよい。例えば、縁石を色分けしたり、マンホールを工夫する。日没後は、夜の港区を楽しんでもらえるよう、ビルのライトアップや、プロジェクションマッピングのような明かりの演出が効果的に使えるとよい。また、ラグビーワールドカップもあったことから秩父宮ラグビー場を港区の資産として生かせるとよい。

参加者：ヒートアイランド対策にもつながるので緑化が重要だ。また、港区は大規模開発が多く、観光資源やランドマークとなることを意識した開発を行う必要がある。もう一つは、街並みを機能別で分かりやすくするため、商業地と住宅地でデザインを変えてはどうか。例えば、横断歩道のデザインを変えたり、住宅地では歩道橋を無くす。また、商業地では、老朽化したまちの案内図を整備し直したり、広告物や立て看板を規制する。もう一つは、住宅地の公園を緑化することで休憩場所を増やしていくことも必要だ。

参加者：明るさという点で、夜道を温かみのある明るさにすることで港区らしさが出る。2点目は、清潔な街づくりとして、犬の糞を捨てる簡易的なごみ箱の設置や、ポイ捨てをしない仕組みづくりなど、清掃のシステムがあるとよい。3点目は、居住環境で議論したボーダーレスの区分になるかもしれないが、道路と歩道、車道の段差を無くすことで、障害者、子ども、バギーを引く母親、高齢者にとっての安全面がより一層向上する。

参加者：街並みとして並木道が必要だ。特に最近の夏場の暑さを考えると、日陰をつくる街路樹を配置することが重要だ。また、電柱は景観を損なうので無電柱化は必要だ。あと、バリアフリーにも重なるが歩道橋の撤去を進めてほしい。一部の交差点では歩道橋しかなく、杖や車いすの方はやはり大変だと思う。もう1点は、夜道が暗いと女性がひとりで歩くと危険なので、街路灯は充実してほしい。

参加者：歩いて楽しい街、見て楽しい街、体験して楽しい街、バランスの取れた景観が大事だ。魅力ある景観にしていくためには、道を歩いていて木陰があって涼しかったり、建物を見て楽しめる。見て美しい、楽しいだけではなく、そこに行くことで何か体験ができる。とよい。

- 参加者：千葉の台風でも大きな被害があったので、景観の視点も含めて電柱の地中化はぜひ推進してほしい。また、洗濯物の外干しは控えてほしい街並みもある。住居によって事情はあると思うが、景観としてはあまり美しいものではない。
- 参加者：マンションでは規制しているところもある。景観面だけではなく、道路に洗濯物が落ちて事故が起こることを防ぐ意味もあると思う。
- 参加者：渋谷区では渋谷ストリームが竣工したが、渋谷川も整備されてきれいになった。若者が多く集まるようになったので、古川も何かできるとよい。
- 参加者：プラチナ通りはイチョウが植わっていて木陰があるが、目黒通りはハナミズキなので日よけには役に立たない。
- 参加者：逆の視点になるがハナミズキは区の木となっているが、あまり目立っていないと思う。
- 参加者：開発できれいになっている場所は景観としてはきれいだが近所の子どもが遊んでいる感じはしない。区の表彰制度の視点として区民が親しみやすいことを加えたらどうか。
- 参加者：知らないため近寄り難いという部分もあるかもしれない。そういう意味ではどのように周知させるかが大事になる。
- 参加者：建設現場の仮囲いを活用できるとよい。例えば、港区内の小学校の絵画コンクールの入賞作品や障害者施設の利用者の作品、区民景観セレクションの写真の写真を載せたり、卒業式のメッセージを書いたりする。
- 事務局：意見をまとめると、「清潔感」、「夜間景観」、「街路樹等の緑」、「ランドマーク」と分類できる。
- 参加者：「川沿いの美化」の分類もあるとよい。
- リーダー：ここからは取組の方向性について議論を進める。
- 参加者：緑については、港区全体で見たときに地域ごとに偏りがあるので、一定量の緑はどの地域でも確保されているとよい。
- 参加者：大きく整理すると、「見栄え」と「機能」に集約できるのではないかと。「見栄え」は、先ほど議論された住宅地と商業地の横断歩道の色を変えることや、緑を多くすることがつながらず。「機能」は、清潔感の取組や無電柱化、歩道橋の撤去が結びつき、防犯や防災に関わる観点も入るのではないかと。
- 参加者：良い分け方だと思う。見た目について一歩踏み込んだ提案をすると、アドプト・プログラムの発想がよいと思うので、区民がポイ捨てしにくい、汚しにくい、自主的に掃除するといった働き掛けになる仕組みがあるとよい。
- 参加者：日影ができる木を新たに区の木としてはどうか。
- 参加者：常緑樹があるとよい。近代的で高い建物が多いので、背が高い木としてヒマラヤスギ等も考えられる。
- 参加者：夜間でも明るい街にする。
- 参加者：ランドマークはもっと目立たせる。
- 参加者：機能では、電柱や歩道橋といった景観を損ねるものをなくす。
- 参加者：古くなっているものとしては公衆トイレがある。
- 参加者：民間ビルのライトアップを義務付ける代わりに電気代を補助することはできないか。
- 参加者：ニューヨークだと観光としてのライトアップには行政がお金を出している。
- リーダー：最後に将来像について議論を進める。

参加者：明るく輝くきれいな港区はどうか。輝けるということで夜の明るさや、将来的な意味合いを兼ねることができる。

参加者：緑化は必要だと思う。

参加者：みんなできれいなまちを守っていくといった意味合いがよい。きれいにするというよりは、汚さない、ごみは持ち帰るといったイメージがある。

参加者：きれい好きな港区といったことでもよい。

参加者：このまちはきれいだから汚せないといったイメージを持ってもらえるとよい。

参加者：グリーンといいねを掛けて、「Greeneな港区」といったのはどうか。

参加者：緑は残した方がよい。緑をバランスよく配置することは街の美しさと関係してくる。

リーダー：時間がきたので、本日はここまでにしたいと思う。

### 3 その他

事務局より次回の開催日程等の確認を行った。

(閉会)

リーダーが第4回グループ会議の閉会を告げ、終了。

以上



みなとタウンフォーラム  
街づくりグループ（第1グループ）

会議録（第5回）

■開催日時・場所・出席者

日 時：令和元年11月22日（金）18時30分～20時30分

会 場：港区役所9階 911会議室

メンバー：7名（欠席2名）

事務局：対応部門関係課長8名（都市計画課長、建築課長、土木管理課長、開発指導課長、土木課長、地域交通課長、高輪地区総合支所まちづくり課長、芝浦港南地区総合支所まちづくり課長）、企画課グループ担当1名、サポートメンバー1名、委託事業者1名

■次第

（開会）

- 1 第4回グループ会議の振り返りについて
- 2 「魅力ある街並み景観の形成」に関する意見交換
  - ・具体的な事業について
  - ・参画と協働について
- 3 その他

（閉会）

■配付資料

資料番号	資料名
1	第4回グループ会議の意見のまとめ
参考資料1	第4回グループ会議 会議録

■貸与資料

資料番号	資料名
1	港区基本計画・港区実施計画

## ■会議要旨

### (開会)

リーダーより、第5回グループ会議開催にあたっての挨拶及び開会宣言が行われた。

#### 1 第4回グループ会議の振り返りについて

事務局より、配布資料1に基づき、前回議論された「魅力ある街並み景観の形成」に関する意見の振り返りを行った。

#### 2 「魅力ある街並み景観の形成」に関する意見交換

「魅力ある街並み景観の形成」に関する具体的な事業、参画と協働について意見を出し合い、議論が行われた。

### (主な意見等)

リーダー：具体的な事業について議論を進める。

参加者：横断歩道や歩道のデザインを統一するだけでなく、商店街の特色や個性の出るデザインをしたらどうか。博多の地下街では全体的に黒色系のデザインに統一された場所がある。港区でもそういったおしゃれな雰囲気が出てくるとよい。

参加者：歩道の色や街路灯のデザインの統一は実現性が高いのではないか。

参加者：道路は、国道、都道、区道があるが、区道以外について実現可能性はあるか。

事務局：国道は国土交通省、都道は東京都が管理しているため、ガードレール等にも国の仕様、東京都の仕様があるため難しいと考える。

参加者：区で管理しているガードレールの色を変えることはできるか。

事務局：緑色はスクールゾーンを示しており、運転手に注意を促す目的もあるため、全体で統一する必要はある。六本木六丁目地区等の開発では、面的な色の調和を図るために緑と白以外を使っている事例もある。

参加者：ガードレールは難しいかもしれないが、歩道の舗装では可能か。

事務局：歩道の色であれば、ある程度自由度はある。商店街等では地域の要望で色や素材を変えている事例もある。

参加者：歩いていて楽しいところになるとよい。

参加者：緑の活用として、区の施設を木造化してはどうか。

事務局：本庁舎等では間伐材等の木が使われており、事前学習会で視察したみなとパーク芝浦でも積極的に木材を使っている。

参加者：街路樹で日影がつかれるように区の木を新しく指定するといった話も出ていた。それを計画的に植え替えていけるとよい。

参加者：緑を植えられる場所がどこにあるか調査をして、日陰がつかれる場所を確保していくための植え替えプランを策定してはどうか。

参加者：木は大きくなれば剪定の必要が生じ、枯葉も出るが、手間を掛けてでも緑を増やしていく必要がある。

参加者：緑に対して区民が関心を持てるようにマンションや個人に種を配るのはどうか。

- 参加者：都市の魅力としての緑化もあるが、温暖化問題との関連の中で、屋上緑化も非常に重要である。
- リーダー：続いて、夜間景観について議論を進める。
- 参加者：夜道を明るくする、街路灯を充実するといった日常生活での視点と、イルミネーションやプロジェクションマッピングなど夜間を楽しむ視点がある。
- 参加者：ホテルでは室内の灯りを使ってクリスマスツリーを描いたりしているが、区内には高層ビルが多いのでそのような取組が広がるように協力を依頼してはどうか。
- 事務局：周辺に居住者がいる場合、照度に配慮する必要があることから難しい場合もある。
- 参加者：民間施設だと難しいので、まずは区の施設から始めてみるのはどうか。
- 事務局：例えば、みなとパーク芝浦ではライトを木の内側から照らすことで建物を綺麗に見せている。
- 参加者：安全面から街路灯を充実するということもある。
- 参加者：マンホールにLED等を組み込んで光らせることはできないか。
- 事務局：区が管理するマンホールはほとんどなく、各管理者との協議が必要となる。
- 事務局：港区内の事例としては三田通りで街路灯に東京タワーと連動して光を変えることできる照明を設置した事例がある。
- 参加者：街路灯をLEDにすることはできるのか。
- 事務局：区には約10,000基弱の街路灯があり平成26年頃からLED化を進めている。このうち小型街路灯約5,000基全ては平成29年度に一気にLED化した。光を変えることについては区で行ったことはないが、冬は暖かくオレンジ系の色、夏は白色に切り替えることは可能である。
- 参加者：それを特定のエリアで使うことはできるのか。
- 事務局：地域の方と相談するなど路線を決めて実施することは可能だと考えられる。
- リーダー：続いて、ランドマーク、シンボルについての議論を進める。
- 参加者：港区区民景観セレクションを実施する際、SNSのハッシュタグを使って応募できるようにすると、多くの人に参加できる。
- 参加者：ランドマークをベースにした街区の開発を誘導していけるとよい。例えば、東京タワーの周辺も一体的に景観を整備していけるとよい。
- 参加者：ランドマークを多くの人に知ってもらう必要がある。
- 参加者：ランドマークをどの場所から見ると良いかという視点もある。その見る場所にベンチを置いたりすることで見やすい場所にしていくというアイデアもある。
- 参加者：ランドマークにキャッチフレーズをつけるのはどうか。京都を紹介する時にテレビで「京都が日本にあってよかった」といったフレーズを使っていたが、港区でも東京タワーなどにキャッチフレーズをつけてもよい。
- リーダー：続いて、街並みの統一感について議論を進める。
- 参加者：ヨーロッパだとフランスに入ったという標識があるので、港区でもそういったものがあったもよい。
- 参加者：国道等では標識があるが、それだけでは面白味がない。区境に港区の木を植えておくといったことができるとよい。
- 参加者：港区と他を区別する方法だけではなく、地域を際立たせるという発想もある。

参加者：支所ごとにコンセプトカラーをつくるのはどうか。

参加者：緑の話になるが、区立の小・中学校の空いている用地を活用して植栽ができるのであれば、取組の一つとして残しておきたい。

リーダー：清潔な街並みについて議論を進める。

参加者：古川の美化として親水性を高めていきたいという意見があった。

参加者：水辺の話は次回の話と重なる部分も多いが開発にあわせて親水空間を整備するとよい。

リーダー：無駄なものをなくすことについて議論を進める。

参加者：無電柱化を進めることがある。

参加者：バリアフリーとして段差を無くす、特にスーパー等の施設の前の段差は無くすべき。

参加者：歩道橋の撤去があるが、区が管理する歩道橋はどのくらいあるのか。

事務局：区が管理する歩道橋は数基しかなく、撤去の基準に該当する歩道橋は無い。

リーダー：では、続いて協働と参画について議論を進める。

参加者：配布された花や木の苗を区民が積極的に活用して緑を増やしていくことができる。

参加者：緑に対する啓蒙に取り組んだり、地区ごとのテーマカラーを決めることに協力したりすることが考えられる。

参加者：美化では清掃活動やアドプト制度を活用した植栽の維持管理に積極的に参加することがある。

参加者：区でも強化して欲しいが、SNSを活用した港区の魅力の発信にも取り組むことができる。

参加者：区民が自由に港区の良いところを紹介できるSNSがあるとよい。

参加者：麻布地区でPIAZZAというSNSがあるので、それを5支所に広げていけるとよい。

参加者：このグループだけの話ではないが、話し合いの場や施策の進捗把握に活用できるデータのプラットフォームがあるとよい。各課でデータは持っているがそれを一つのデータとすることで新しい施策が出てくるかもしれない。

リーダー：では、本日の意見交換はここまでとする。

### 3 その他

事務局より次回の開催日程等の確認を行った。

(閉会)

リーダーが第5回グループ会議の閉会を告げ、終了。

以上

みなとタウンフォーラム  
街づくりグループ（第1グループ）

会議録（第6回）

■開催日時・場所・出席者

日 時：令和元年12月9日（月）18時30分～20時30分

会 場：港区役所9階 911会議室

メンバー：8名（欠席1名）

事務局：対応部門関係課長9名（都市計画課長、住宅課長、建築課長、土木管理課長、開発指導課長、土木課長、地域交通課長、麻布地区総合支所まちづくり課長、芝浦港南地区総合支所まちづくり課長）、企画課グループ担当1名、サポートメンバー1名、委託事業者1名

■次第

（開会）

- 1 第5回グループ会議の振り返りについて
- 2 「公園・緑・水辺」に関する意見交換
  - ・現状と課題について
  - ・取組の方向性について
  - ・将来像について

3 その他

（閉会）

■配付資料

資料番号	資料名
1	「魅力ある街並み景観の形成」に関する意見のまとめ
参考資料1	第5回グループ会議の意見のまとめ
参考資料2	第5回グループ会議 会議録
参考資料3	グループ会議の検討スケジュール

■貸与資料

資料番号	資料名
1	港区基本計画・港区実施計画

## ■会議要旨

### (開会)

リーダーより、第6回グループ会議開催にあたっての挨拶及び開会宣言が行われた。

#### 1 第5回グループ会議の振り返りについて

事務局より、配布資料1に基づき、これまで議論された「魅力ある街並み景観の形成」に関する意見の振り返りを行い、サブリーダーより、意見のまとめ方の案が資料として提示された。

「魅力ある街並み景観の形成」に関する提言書の作成に向けてはサブリーダーの案を基礎として検討を進めることがメンバーから了承された。

#### 2 「公園・緑・水辺」に関する意見交換

「公園・緑・水辺」に関する現状と課題、取組の方向性、将来像について意見を出し合い、議論が行われた。

### (主な意見等)

参加者：公園の夜間は暗い印象があり、女性は不安を抱いているのではないかと。街路灯の明るさを調整する必要がある。

参加者：公園内のトイレの数が少なく、場所も分かりづらい。

参加者：池の外来種を調査し、池の水を抜いて駆除を行ってはどうか。

参加者：公園の池の水質を改善してほしい。また、公園内にランコースがあるとよい。

参加者：公園は災害時の避難場所にもなっており、かまどベンチやマンホールトイレが設置されている。公園に防災機能も整備すべきである。

参加者：開発や道路整備によって樹齢の古い木が切られることがある。それを植え直すことは難しいとしても、大きな木を地域で育てられるスペースを確保してほしい。

参加者：子どもの遊び場は土であることが多いが、土埃が舞わないように考慮してほしい。

参加者：公園は子どもだけでなく、大人が憩えるスペースも確保してほしい。

参加者：公園の樹木の配置は倒木の危険がないように検討してほしい。また、公園は親が子どもに植物の教育をする場にもなっているので、多様な植物が必要だ。また、川にリアルなカバのオブジェを置いた事例があるが、川を知ってもらうプロモーションは大切だ。制度が厳しいのであれば、緩和を進める必要もある。

参加者：公園のベンチに一人ひとりを仕切る境目があるものもあるが、一人で寝ころべるようなベンチやスペースがあってもよい。また、都内でWi-Fiに繋がる環境は多くなっているが、公園単位でWi-Fi環境を整備できるとよい。

参加者：公園、水辺、緑にどうしたら人が集まるかという視点で考えた。まず、清潔感や美化は徹底した方がよい。2つ目が、ストリートミュージシャンやパフォーマーが自由に使えるステージやピクニック用の椅子やテーブルがあったら便利だ。3つ目として、港区立芝浦中央公園のように花がたくさんあると人が多く集まる。また、先ほど意見のあった樹木が育つスペースを確保して、その成長の過程を見られるのは面白い。

- 参加者：港区のイメージに合うアート作品が置いてあるなど、大人が集えるデザイン性のある公園があるとよい。あとは、計画段階でワークショップ等により、近隣住民の意見をしっかりと聴きながら公園を整備するとよい。
- 参加者：港区立芝浦公園にはバスケットゴールがあり多くの人が集まっている。また、砂場には子どもも遊んでいて、多くの世代が集まれるようになっている。広場では全国の野菜を売るマルシェが開催されることもあるので、活気のある公園になっている。ただ、夜間は暗いので治安面では少し不安になることはある。水辺については水質が悪いので改善すべき。花や木の種を植えて緑化に取り組むことは非常によい。公園や幼稚園の一面を貸し出し、地域の皆で野菜を育てて収穫できるとおもしろい。
- 参加者：他都市との交流や親子教室があってもよい。また、公園は地域と話し合いながら整備することで、地域の繋がりやストーリーができるのではないかと。コンセプト一つにしても、皆で考えれば、話し合った背景が生まれる。水辺については水面にプロジェクションマッピングが出来たらおもしろいし、水害時には警告灯に活用できるとよい。
- 参加者：公園内を回遊できる庭園型の公園が増えるとよい。また、大型の公園は機能を見直す必要もある。交流拠点となっているが、大きな災害に備えて防災面の見直しや再配置も必要になってくる。あと、水辺としては水路が発達しているので交通手段としての利活用できるとよい。
- 参加者：日常的にも観光的にも利用できるとよい。水路と遊歩道が繋がって、そこに海外のようにレストランやホテルがあると魅力的になる。

リーダーとサブリーダー、事務局で「公園・緑・水辺」の現状・課題に関する意見を整理し、参加者との共有を行った。

- リーダー：現状と課題について意見を整理したが追加で意見はあるか。
- 参加者：国際化が進んでいるので多言語化等で外国人が来やすい公園も必要ではないか。
- 参加者：多くのイベントを開催することで交流の機会となるかもしれない。
- 参加者：外国人が来やすい環境をつくることで、子どもも親しくなれる。
- リーダー：つづいて、取組の方向性について議論する。
- 参加者：区内には公園や緑地はある程度あるので、それぞれの機能を見直していくことが大事ではないか。
- 参加者：賑わいの公園だけでなく、静かな公園もつくっていいとよい。
- 参加者：イベントは普段公園に来ない人を呼び込むための取組にしていけるとよい。
- 参加者：緑は、多様性のある緑の充実や、植栽できる新しい場所の確保がある。
- 参加者：環境や住民の年齢層も変化しているので、公園の機能を見直す必要がある。
- 参加者：一度に全ての公園というわけではなく、ある程度の周期の中で見直していいとよい。
- 参加者：水辺の方向性については、区民がPRしたくなるような水辺づくりではないか。
- リーダー：つづいて、将来像についてはどうか。
- 参加者：「区民の日常に潤いを与える環境」といった表現はどうか。
- 参加者：個性ある公園づくりという視点もあるとよい。
- リーダー：時間がきたので、本日はここまでとする。

### 3 その他

リーダーより「居住環境」、「魅力ある街並み景観の形成」についての事業の整理の仕方について提案があった。

事務局より次回の開催日程等の確認を行った。

#### (閉会)

リーダーが第7回グループ会議の閉会を告げ、終了。

以上



みなとタウンフォーラム  
街づくりグループ（第1グループ）

会議録（第7回）

■開催日時・場所・出席者

日時：令和元年12月23日（月）18時30分～20時30分

会場：港区役所5階 512会議室

メンバー：8名（欠席1名）

事務局：対応部門関係課長9名（都市計画課長、住宅課長、建築課長、土木管理課長、開発指導課長、土木課長、地域交通課長、芝地区総合支所まちづくり課長、芝浦港南地区総合支所まちづくり課長）、企画課グループ担当1名、サポートメンバー1名、委託事業者1名

■次第

（開会）

- 1 第6回グループ会議の振り返りについて
- 2 「公園・緑・水辺」に関する意見交換
  - ・具体的な事業について
  - ・区民の参画と協働について
- 3 提言書に掲載する事業の調整
  - ・居住環境
  - ・魅力ある街並み景観の形成
- 4 その他

（閉会）

■配付資料

資料番号	資料名
1	第6回グループ会議の意見のまとめ
2	「居住環境」の提言（骨子）
3	「魅力ある街並み景観の形成」の提言（骨子）
参考資料1	第6回グループ会議 会議録
参考資料2	提言の取りまとめイメージ（例）

■貸与資料

資料番号	資料名
1	港区基本計画・港区実施計画

## ■会議要旨

### (開会)

リーダーより、第7回グループ会議開催にあたっての挨拶及び開会宣言が行われた。

#### 1 第6回グループ会議の振り返りについて

事務局より、配布資料1に基づき、前回議論された「公園・緑・水辺」に関する意見の振り返りを行った。

#### 2 「公園・緑・水辺」に関する意見交換

サブリーダーより、「公園・緑・水辺」に関する具体的な事業、区民の参画と協働について事前にメンバーから出された意見を取りまとめた資料に基づき、説明が行われた。

「公園・緑・水辺」に関する提言書の作成に向けてはサブリーダーが取りまとめた資料を基礎として検討を進めることがメンバーから了承された。

### (主な意見等)

参加者：公園内のバリアフリー化については是非、実現してほしい。

参加者：現状・課題の部分でもよいので、環状第4号線の整備に伴って無くなる公園の代替地の確保が必要となることは盛り込みたい。

参加者：水辺については港南地域の運河を対象とした印象を受ける記載となっているので、古川についても触れてほしい。

#### 3 提言書に掲載する事業の調整

事務局より、「居住環境」、「魅力ある街並み景観の形成」について出された具体的な事業に関する港区の取組の現状の説明が行われた。他グループで取り扱う事業については事務局より該当グループに伝えて検討材料としていただくこととし、他の事業についてはこれまで出された案を基本として、区の取組の現状を踏まえた記載とすることでメンバーから了承された。

### (主な意見等)

#### <居住環境>

事務局：「空き家対策の推進」については、区内の住宅は資産価値が高いため、空き家は多くないのが現状となっている。空き家となっているものの多くが、共同化の建て替えを計画中のものや相続の手続き中のものとなっている。

参加者：マンションについては投機物件となっていて住んでいないものがあるので、そういったことを規制はできないのか。

事務局：個人の資産であるため、行政が規制することは難しい。区としては、管理組合に対して運営や取組の支援を行っている。

「細街路の拡幅と無電柱化」については、細街路を解消するためには土地所有者の資産を売っていただくか、借りることが前提となっているので、パンフレット等で普及啓発に努めるとともに、工事や測量に対して補助金を出している。また、開発と合わせて地中化を進めており、港区は23区内でも地中化がトップクラスに進んでいる。

- 参加者：電柱が無くなるのはよいが、電柱についていた住居表示が無くなって場所が分かりにくくなったという意見も聞いたことがある。
- 事務局：「コミュニティ活動拠点」のうち、いきいきプラザは他グループの内容となっている。公園については、都市計画公園の整備を計画的に進めており、その中で憩いの空間やレクリエーションの場を整備している。
- 参加者：以前にマンション等の公開空地が入りづらくて、使いにくいという意見があったが、区として対応は可能なのか。
- 事務局：総合設計制度により整備された公開空地は、誰でも利用可能なことを示す案内板が掲示されており、区は指導する立場にある。
- 「買い物、移動の問題解決の推進」については、区民の皆さんからスーパーが不足しているとの意見を多くいただいている。区としても大規模開発に合わせて生活利便施設の誘導を行っている。一方で、事業者からは、港区は昼間人口が多いため平日は売れるが、土日は売り上げの確保が難しいので出店は難しいという意見も聞いている。
- 参加者：スーパーの誘致だけではなく、移動コンビニのような取組はどうか。
- 事務局：環状第2号線の沿道では週末にマルシェが開催され、地方の野菜が売られている。芝浦のプラタナス公園では全国自治体との連携の取組として地方の特産物を売っている。
- 参加者：そのような取組は地域の方々からの働きかけで行っているのか。
- 事務局：環状第2号線沿道での取組については地域から要望があり、エリアマネジメント団体が主体となって行っている。コンビニの移動販売は他の自治体では実例がある。
- 参加者：港区内で実例が無いのは採算性の問題か、それとも規制の問題か。
- 事務局：事業者の移動販売の展開は、高齢者住民が多い地方の過疎地が多い状況となっている。
- 参加者：高齢者はスーパーに行くのも大変だということをテレビで見たことがあり、スーパーが巡回の移動販売をやってくれるとよい。
- 事務局：「サウナ、銭湯の充実」については、福祉分野なので他グループの内容になる。
- 「特徴のある街路にネーミング、お酒落な街路灯やガードレールの設置」については、区内でも赤レンガ通りやスタジアム通りといった通称名があり、町会や商店街の総意で決めることができる。街路灯やガードレールについては、既製品外のを整備すると、維持管理の面で経費がかかるなど課題があることから、白色を基本として通学路は緑色を使っている。
- 参加者：ちいばすのバス停で日影がないところに屋根をつけるといったことはできるのか。
- 事務局：区としては、停留所に積極的に屋根の整備を進めているが、屋根を設置する場合、歩道の幅員が確保できないなど物理的に設計が難しいところもある。
- 参加者：「デジタルサイネージなどを活用した区の情報発信」については、施設内にデジタルサイネージを設置するのではなく、町会の掲示板の代わりとして活用できないかという視点である。開発の際に工事のコンセプト等を発信するようにデジタルサイネージを設置して、それを完成後は町会の案内等にも活用できるとよい。
- 事務局：工事現場で仮囲いに完成予想図を付けている例はある。竹芝地区の開発事業では、完成後のイメージパースが描かれている。提言を踏まえて発展させていくことは考えられる。
- 参加者：工事中はそのエリアが隔離されて暗くなったりもしているので、夜間の照明替わりとして活用できるとよい。

事務局：事業者に義務付けることはできないため、デジタルサイネージは整備費用が高額なことから、事業者に敬遠される可能性はある。

デジタルサイネージを道路上に設置して広告を掲載することは現在の法律では禁止されているが、国で実証実験を行っている段階となっている。

参加者：費用面については民間が出せないものは提言を踏まえて、区で補助等を検討してもらえるとよい。

提言は令和8年度末を着地点とした将来の取組の話をしているので、現在の法律でできないということではなく、提言を受けて区として実現に向けて検討していただきたい。

事務局：あくまでも区の現状について説明をさせていただいているので、それを踏まえて提言内容については皆さんで判断していただければと思う。

参加者：説明の中で、他グループの内容となったものは、事務局でしっかりと伝えて検討してもらいたい。

事務局：「観光・交通標識の多言語化」について、観光分野での多言語による情報発信は取り組んでいる。一方、道路標識については国土交通省の省令で決まっているが、オリンピックの開催に向けて英語表記の追加が進められている。

「特色ある案内表示の導入（公園・水辺・観光案内所）」については、各地区総合支所が中心となって、地名の由来の看板や、ちいばすのバス停に観光案内等を設置している。

「インフラの見直しによる防災・防犯」については、他グループに伝えさせていただく。まちづくりでは、公園や道路の段差の解消や、車いすの動線確保などに取り組んでいる。

参加者：バリアフリー化についてはしっかりと提言に盛り込んでいきたい。

事務局：「シェアリングエコノミー導入の推進によるモビリティの向上」については、国土交通省が超小型モビリティの導入を推進している。区では自転車シェアリングを実施しており、10区で連携して相互利用を行っている。

事務局：「コンパクトシティに必要なインフラ、機能の洗い出し」については、港区は人口が増し、市街地が密集している状況となっているので、コンパクトシティという考え方が現時点でない状況となっている。

参加者：移動に支障がある人が増えている中で、地区単位でIT化等も行いながら機能を集約していくことも必要ではないか。

#### <魅力ある街並み景観の形成>

事務局：「日陰がしやすい木を港区の木として新しく設定」については、木の樹形を剪定の仕方を工夫して木陰をつくる取組を実施している。

参加者：温暖化など地球環境が変わってきているので、機能面からも日影をつくっていくことが重要になると思う。

事務局：「区民への木、花の配布」については、麻布地区総合支所で植木市の際に配布をし、園芸教室や緑の相談を行うことで、木や緑に興味を持ってもらえる取組を実施している。温暖化対策や公共施設の緑の充実については、環境分野なので他グループの内容となる。夜間景観については、季節を感じられる照明配色の採用として、例えば、地域を限定して、銀杏並木とあわせて、色で演出するようなことは考えられる。

事務局：「公共施設でのライトアップやプロジェクションマッピング」については、現在、橋梁のライトアップや、高橋是清翁記念公園のライトアップに取り組んでいる。

ランドマーク・シンボルについては東京タワーが見えるスポットとして芝公園を周知することなどが考えられる。

参加者：トリックアートについては、平面でも絵によって段差があるように見せて、注意を促す交通標識のような取組を考えている。

事務局：街並みの統一感の「街ごとに統一感のある道路舗装、サイン、街路灯、ガードレールの設置」については、先ほどの居住環境の部分と同じくメンテナンス費用の課題がある。商店街の統一したフラッグサインとしては大門通りなどで取り組んでいる事例がある。「支所ごとのコンセプトカラー」については、区として明確に設定していない現状である。

「清潔な街並みの親水空間」については、例えば、白金一丁目の再開発事業では、古川の建物は川に背を向けているので、景観の指導の中で川に顔を向けた整備をするような指導を行っている。

参加者：指導はどの程度の強制力があるのか。

事務局：あくまでも指導なのでお願いになる。

「店の前の段差を無くす」については、港区バリアフリー基本構想に基づいて取組を進めている。

「区の歩道橋を無くす」について、区の歩道橋で撤去を検討できる対象が無い状況。その他の「情報のプラットフォームの整備による見える化」等は全庁的な取組になるので皆さんから意見を踏まえて検討するよう所管課に意見を伝えさせていただく。

リーダー：公園・緑・水辺についても区が取組状況を教えてほしい。

事務局：公園については、整備やリニューアルをする際、ワークショップを行って地域の意見を把握しながら整備している。

参加者：公園の規模にもよるが、1回の整備であえて完成させず、3年毎に意見を取り入れつつ完成させていくという方法は考えられないか。それによって愛着や関わる人を増やすことができる。

事務局：これまではそういった方法を実施したことがないが、整備後に花を植えたり、清掃したりといった維持管理を地域の皆さんと協力して行うことはある。

参加者：例えば、PTAの人が構想段階で参加しても、公園が完成する頃には子どもが卒業しており、その時に使う人の意見とは違う可能性もある。何世代かに渡ってゆっくりと整備していくのも面白いやり方ではないかと思う。

事務局：ある程度広さがある公園を想定されていると思うが、これまでそういった考え方で公園整備はなかったので、面白い発想だと思う。

緑についての意見は、先ほど景観でも説明させていただいたとおり、概ね区でも同じ方向を向いていると思う。

リーダー：他のグループの内容となった部分については事務局からしっかりと伝えていただくようお願いする。提言については今日の話をつまえてまとめていく。

事務局：提言書については本日の意見を踏まえて、空き家対策のように区では取り組んでも効果がないものは外し、他のグループの内容については他のグループで検討してもらう。残りの事業については、既に区で取り組んでいるものは充実、推進するような内容として整理する。

### 3 その他

事務局より次回の開催日程等の確認を行った。

(閉会)

リーダーが第7回グループ会議の閉会を告げ、終了。

以上

みなとタウンフォーラム  
街づくりグループ（第1グループ）

会議録（第8回）

■開催日時・場所・出席者

日時：令和2年1月14日（火）18時30分～20時30分

会場：港区役所9階 911会議室

メンバー：8名（欠席1名）

事務局：対応部門関係課長9名（都市計画課長、住宅課長、建築課長、土木管理課長、開発指導課長、土木課長、地域交通課長、芝地区総合支所まちづくり課長、芝浦港南地区総合支所まちづくり課長）、企画課グループ担当1名、サポートメンバー1名、委託事業者1名

■次第

（開会）

- 1 提言書について
- 2 その他

（閉会）

■配付資料

資料番号	資料名
1	提言書（たたき台）
参考資料1	第7回グループ会議 会議録

■貸与資料

資料番号	資料名
1	港区基本計画・港区実施計画

## ■会議要旨

### (開会)

リーダーより、第8回グループ会議開催にあたっての挨拶及び開会宣言が行われた。

### 1 提言書について

事務局でとりまとめた提言書（たたき台）に基づいて意見交換が行われた。

今回の意見を反映した資料を基に最終調整はリーダー、サブリーダーと事務局で行うことでメンバーから了承された。

### (主な意見等)

<居住環境／魅力的な住宅地>

リーダー：「居住環境／魅力的な住宅地」の提言書の内容について意見はあるか。

参加者：実現に向けた課題の語尾の「必要がある」は必要ないのではないか。

リーダー：他のテーマも含めて「必要である」の語尾は削除する。

続いて、具体的な事業について意見はあるか。

参加者：「細街路の拡幅の推進」について、実施するエリアを示した方がより具体的になるのではないか。

事務局：個人の財産に関わることから、セットバックは所有者の同意が必要となるので、具体的な箇所を挙げるのは難しい。

参加者：大きく言うと、住宅街になると思う。

事務局：具体的な場所を決めるのが難しければ、「モデル地区をつくって積極的に進める」といった記載方法も考えられる。

リーダー：では、そういった記載を追加する。

参加者：「コミュニティ活動拠点の整備」について、公園に整備するとオープンスペースのため屋外になる。イメージとしては室内空間で集まれる場所を確保してほしい。

リーダー：「公園等の整備の際には」を削除し、コミュニティ活動ができる場所を確保するといった書き方に修正する。

参加者：「誰もが買い物しやすい環境の確保」は、本当にニーズがあるのか確認が必要ではないか。また、買い物だけでなく、サービス全般を充実することが大事ではないか。

リーダー：「ニーズを把握した上で、対策を講じる」といった表現を加筆する。

参加者：「港区ならではの魅力ある道路づくり」については商店街等にヒアリングして、望んでいるのであれば推進する方向だと思う。

参加者：ちいばすのバス停の屋根をデザインすることはできるのか。

事務局：ちいばすのバス停は事業者の占有物となっている。

リーダー：事業者がやってくれるかという課題はあるが、「ちいばすのバス停にデザイン性を充実させる」といった表現を追加する。

参加者：「工事現場でデジタルサイネージ等を活用して情報発信」については、現実的にできることとして、既にある工事現場のデジタルサイネージに区の情報発信を追加してもらうという書き方に修正する。さらに、将来的な技術革新に期待してデジタルサイネージの地域での活用を検討していくことも表現として残しておきたい。



リーダー：続いて「参画と協働の推進」について意見はあるか。

参加者：「イベントの実施」の主体を書いた方がよい。

リーダー：「地域が主体となって」といった表現を追加する。

<居住環境／持続可能・身近なまち>

リーダー：「持続可能・身近なまち」について意見はあるか。

参加者：「トリックアートを活用した注意喚起を行う。」のトリックアートについては実例を検証する必要がある。

参加者：「地域で便利に生活するためのインフラ整備」の中に、ちいばすの運行システムが使えない状況となっているので表示できるようにすることを入りたい。

<魅力ある街並み景観の形成>

リーダー：「魅力ある街並み景観の形成」について意見はあるか。

参加者：「木の苗、花の種の配布」に野菜の種も加えたい。

参加者：「ランドマークのキャッチフレーズの設定」について、そもそも何をランドマークとするかを決めた方がよい。まずは住民の意見も聴いてランドマークを設定し、その次の段階としてキャッチフレーズを付けるのではないか。

参加者：ランドマークだけ事業が細かくなり過ぎているので、ランドマークで一つにまとめても良いのではないか。

リーダー：ではそのように修正する。

参加者：「昭和を感じる景観資源の保全」については新橋の飲み屋街をイメージするが、他に何かあるか。

参加者：単体の建物でも多くあるので、早急に取り組んだ方がよい。

リーダー：「保全を積極的かつ早急に取り組む」といった表現に修正する。

参加者：「街並みの統一感」に統一したフラッグ・サインの掲示はあるが、歩道の舗装も入れられないか。

リーダー：商店街の意向もあるので、取組を促す表現にする。

参加者：「港区景観街づくり賞等の募集における SNS の活用」にケーブルテレビを活用することも追記したい。

参加者：「協働と参画」について、教育や啓蒙として一緒に取り組む仲間を増やしていくことも必要ではないか。

<公園・緑・水辺>

リーダー：「公園・緑・水辺」について意見はあるか。

参加者：「公園のソフト面」について、港区は外国の大使館が多いので、各国の公園遊びを紹介する取組を書いてはどうか。

参加者：「周辺住民対応」で「複数年かけて様々な世代の意見を反映しながら段階的に」とあるが、「区民参加型の公園整備」として、例えば、ベンチをつくったり、植栽したり、池の清掃をしたりといった表現をいれた方がニュアンスが伝わる。

参加者：緑について子どもの教育用に何か木を植えるのではなく、色々な世代が学べることが大事ではないか。

リーダー：「子ども」と書いているのでニュアンスが伝わりにくいので、「子ども」に限定しない表現に修正する。

参加者：「水辺環境の整備」について、海苔の養殖は面白い取組なので、周知の意味も込めて事業にいれたい。

リーダー：では、意見交換は以上とする。今回の意見を踏まえた最終的な取りまとめは、私とサブリーダーに一任していただいて、事務局とやりとりをしながら仕上げていく。

## 2 その他

事務局より今後の日程等の確認を行った。

(閉会)

リーダーが第8回グループ会議の閉会を告げ、終了。

以上